



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月5日

上場会社名 東り株式会社
コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 松本 隆志

TEL 06-6494-6691

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	75,046	2.5	2,171	24.1	2,447	19.5	1,657	14.9
2024年3月期第3四半期	73,209	8.6	2,862	101.0	3,040	103.4	1,947	117.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,039百万円 (35.2%) 2024年3月期第3四半期 3,149百万円 (122.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	28.10	
2024年3月期第3四半期	32.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	90,098	46,072	50.8
2024年3月期	90,849	45,760	50.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 45,763百万円 2024年3月期 45,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		3.00		16.00	19.00
2025年3月期		5.00			
2025年3月期(予想)				14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	2.5	4,100	17.6	4,250	18.9	3,000	18.7	51.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	60,129,249 株	2024年3月期	60,129,249 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,883,346 株	2024年3月期	944,037 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	58,997,194 株	2024年3月期3Q	59,985,903 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とする個人消費の持ち直しや企業業績の回復などにより緩やかな回復基調となりました。一方、不安定な国際金融市場動向やさまざまな社会情勢を背景とするコスト上昇圧力の高まりといった不安要素も抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、訪日外国人客数の回復による店舗・宿泊施設向け需要やオフィス回帰によるオフィスリニューアル需要が堅調に推移しました。一方、建設コストの高止まりや人手不足による供給制約などが相俟って、住宅・非住宅を問わず建築着工量は弱含みで推移し、今後の需要動向も楽観の許されない状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする4ヶ年の中期経営計画『SHINKA Plus ONE』を推進しております。当期は中期経営指標・全項目(連結売上高1,000億円以上、連結営業利益40億円以上、連結ROE7.0%以上、リサイクル率85%以上、産業廃棄物排出量40%以上削減(2019年度比))の達成を目指し、各重点戦略の総仕上げを進めております。当第3四半期につきましては、カーペット用ナイロン糸設備とタイルカーペトリサイクルプラントを活用した環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティブバック」のラインアップを増強し、広化東リフロア新3号ラインによる独自技術を生かした「NS800」ファイン・インレイドを新発売いたしました。引き続き、当中期経営計画における3大設備投資をベースとした新製品開発にスピード感をもって取り組んでまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は75,046百万円(前年同期比2.5%増)となりました。利益面では、製造原価の低減や販管費の縮減に努めてまいりましたが、各種原材料価格の上昇、並びに人件費や製品の大型改廃に伴う販売促進費の増加などにより、営業利益は2,171百万円(前年同期比24.1%減)、経常利益は2,447百万円(前年同期比19.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,657百万円(前年同期比14.9%減)と、いずれも減益基調となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、当第3四半期に新発売した高付加価値製品を中心に販促活動に注力いたしました。また、各種原材料価格や物流費の上昇などを背景に一部商品の上代価格改定を実施し、収益改善にも努めました。

ビニル系床材では、10月にワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床シートで構成する見本帳「シートコレクションNW」の大幅リニューアルを行い、12月には新ラインを活用した防滑性ビニル床シート「NS800」ファイン・インレイド<特許取得>を新発売し、ビニル床シートの製品競争力を高めました。また、ピールアップ施工で既設の床に「重ねて貼れる」当社独自の住宅用床タイル「クラシアルタイル」を12月に発売し、賃貸住宅市場を中心とする販促活動に注力してまいります。市場分野別では明暗がはっきりと分かれましたが、独自性の高い製品を中心に販売数量を伸ばし、ビニル系床材全体の売上高は前年比微増となりました。

カーペットでは、7月発売のグラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」等を中心に販促活動に注力する中、12月に環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティブバック」にカラーバリエーション豊富な「グレイスフィールド」を追加発売するなど、カーペット全体の売上高は前年並みに推移しました。

壁装材では、ビニル壁紙「POWER1000」に代わる新たなブランドとして全点不燃認定壁紙で構成する「DECOPOWER(デコパワー)」を10月に発売し、快適な空間をサポートする機能性やトレンドを意識したデザインを中心に好評価をいただいております。また、7月に新発売した汎用タイプビニル壁紙「東リウォールVS」が伸長し、壁装材全体の売上高は前年並みに推移しました。

カーテンでは、住宅向けカーテン「フル」や教育・医療施設向けカーテン「コントラクトカーテン」の販促に注力しましたが、オーダーカーテン需要が弱含みで推移し、売上高は前年を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は45,265百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益は1,594百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、国内建設業における時間外労働上限規制の適用や高止まりする建設コストへの対応など、生産性の向上と質の高いサービスへのニーズが高まっています。そのような中、仕入れ価格の上昇に応じた販売価格への転嫁を進めつつ、東リブランド新製品を中心とするきめ細かい商品提案に注力したことで、売上高は前年を上回りました。

東璃（上海）貿易有限公司では、中国経済の低迷が長期化するなか、不動産業界においても住宅着工床面積の低迷や住宅価格が継続的に下落するなど厳しい市場環境が続いています。そのような中、各エリア代理店との連携や提案営業の強化に引き続き注力し、同社の第3四半期(2024年1月～9月)売上高は前年並みで推移しました。

また、北米市場での売上拡大を目指して7月に営業を開始した米国現地法人「TOLI North America Corporation」では、従来の東部・中部エリアに加えて西部エリアでの代理店開拓を推進し、北米市場におけるTOLIブランドの浸透に注力してまいります。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は48,534百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は1,360百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

<資 産>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,090百万円減少し、49,837百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出に伴う現金及び預金の減少等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,339百万円増加し、40,261百万円となりました。これは主に、製造設備増強に伴い建物及び構築物や機械装置及び運搬具が増加したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ751百万円減少し、90,098百万円となりました。

<負 債>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,447百万円減少し、32,619百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ384百万円増加し、11,407百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少し、44,026百万円となりました。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、46,072百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2024年5月8日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,635	6,202
受取手形及び売掛金	20,130	17,024
電子記録債権	9,014	9,167
商品及び製品	8,857	10,235
仕掛品	2,138	2,480
原材料及び貯蔵品	2,134	2,590
その他	1,072	2,190
貸倒引当金	△55	△53
流動資産合計	52,928	49,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,044	7,691
機械装置及び運搬具(純額)	5,427	5,976
工具、器具及び備品(純額)	1,098	892
土地	8,565	8,590
建設仮勘定	2,384	3,058
その他(純額)	86	68
有形固定資産合計	24,606	26,279
無形固定資産		
ソフトウェア	447	431
その他	228	229
無形固定資産合計	675	660
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	8,099
その他	5,287	5,235
貸倒引当金	△276	△14
投資その他の資産合計	12,639	13,321
固定資産合計	37,921	40,261
資産合計	90,849	90,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,706	14,610
電子記録債務	7,014	7,736
短期借入金	2,220	5,050
未払法人税等	1,062	97
未払費用	1,731	1,740
賞与引当金	890	255
役員賞与引当金	7	—
その他	3,432	3,128
流動負債合計	34,066	32,619
固定負債		
長期借入金	4,480	3,930
繰延税金負債	104	593
退職給付に係る負債	3,752	3,843
その他	2,684	3,040
固定負債合計	11,022	11,407
負債合計	45,088	44,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	4,812	4,841
利益剰余金	29,217	29,633
自己株式	△227	△687
株主資本合計	40,658	40,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,782	4,149
為替換算調整勘定	426	449
退職給付に係る調整累計額	566	521
その他の包括利益累計額合計	4,775	5,120
非支配株主持分	326	309
純資産合計	45,760	46,072
負債純資産合計	90,849	90,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	73,209	75,046
売上原価	51,833	53,418
売上総利益	21,375	21,628
販売費及び一般管理費	18,512	19,456
営業利益	2,862	2,171
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	177	204
仕入割引	59	56
保険配当金	50	49
その他	116	184
営業外収益合計	406	498
営業外費用		
支払利息	48	49
持分法による投資損失	159	149
その他	21	23
営業外費用合計	228	222
経常利益	3,040	2,447
特別利益		
固定資産売却益	31	—
投資有価証券売却益	40	188
特別利益合計	71	188
特別損失		
固定資産除却損	48	23
特別損失合計	48	23
税金等調整前四半期純利益	3,063	2,612
法人税、住民税及び事業税	856	570
法人税等調整額	220	347
法人税等合計	1,077	917
四半期純利益	1,986	1,695
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947	1,657

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,986	1,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,030	366
為替換算調整勘定	142	△23
退職給付に係る調整額	△9	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	—	46
その他の包括利益合計	1,162	344
四半期包括利益	3,149	2,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,109	2,002
非支配株主に係る四半期包括利益	39	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,911百万円	2,139百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,620	47,588	73,209	—	73,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,901	222	19,123	△19,123	—
計	44,522	47,810	92,332	△19,123	73,209
セグメント利益	2,166	1,134	3,301	△260	3,040

(注) 1 セグメント利益の調整額△260百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,879	48,167	75,046	—	75,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,386	366	18,753	△18,753	—
計	45,265	48,534	93,800	△18,753	75,046
セグメント利益	1,594	1,360	2,955	△507	2,447

(注) 1 セグメント利益の調整額△507百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。